

## 永遠にいのちを受け入れる連鎖を —いのちを支える講演会—

行動派産科医の竹内正人さんを講師に招き、いのちの大切さや親としての関わり方などを学ぶ「いのちを支える」講演会が1月22日、町中央公民館で開催されました。会場には周産期支援に関わる職種や関心を持つ人が多く参加、講話を受けました。竹内さんは「親は子宮のように子を絶対的に受け入れる安全地帯であってほしい」と思いを語り、「子どもが安心を得られる環境で育てば、次の世代を受け入れられる。そんな受け入れの連鎖が永遠につながってほしい」と子育てにかけける思いを伝えました。参加者からは「子どもに先立たれた母親へのフォローは？」などの活発な質問があがりました。



## 児童虐待の現状と対策を学ぶ —町要保護児童対策地域協議会研修会—

児童虐待の現状と改善の方向性を学ぶ研修会が1月14日、町立図書館集会所で開催され、保育士や幼稚園、学童の担当者、民生委員、児童委員、母子保健推進員などが出席しました。研修では中央児童相談所の親戚静代さん(写真)を招き、現場を熟知した視点で講義が行われました。昨今は児童虐待に関する相談件数が増加し、内容も複雑かつ深刻化している現状とこのこと。DVDや写真を取り入れた講義を聞き、参加者からは「親との関わり、接し方が重要。保護者に寄り添う支援を意識したい」との感想が聞かれました。同協議会は第2回の研修会を3月4日に開催します。



講師の親戚静代さん



## みんなで元気にオニ退治！

坂田・西原・西原東の3児童館の合同豆まき大会が2月2日に坂田児童館で行われ、親子約30名が参加しました。玄関から青オニにふんした職員が登場すると、子どもたちは大騒ぎ。オニの迫力に怖がったり泣き出したりしながらも、みんなで協力してオニに豆をぶつけ、追い払うことができました。豆まきの後は年の数だけ豆を食べ、1年間の健康を願いました。【動画】町HP「さわふじチャンネル」で公開中



## 「もちみだいに粘り強く」 新春餅つき大会

町赤十字奉仕団(城間富子委員長)とNPO法人さわふじ地域活動支援センターさん(喜屋武光廣理事長)は、年が明けたばかりの1月6日にふれあい餅つき大会を開催しました。参加者は朝早くから役場玄関に集まり、交互に炊き立てのもち米を元気よくついていました。つきたてのお餅は、あんこやきな粉を加えて来庁者にふるまわれ、新年を祝いました。



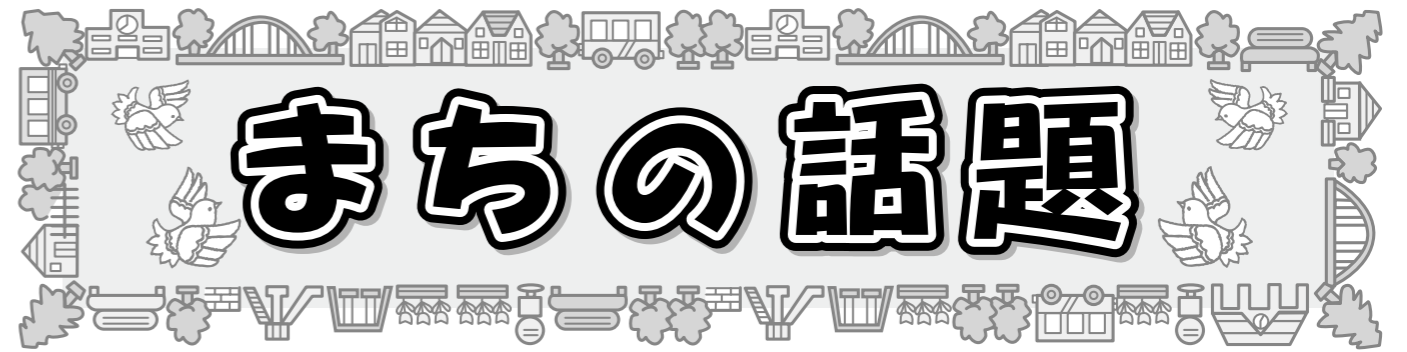
## なぎなたの県大会で、 子どもたちが活躍

昨年12月19日に県立武道館で開催された「第10回おきでん杯争奪・第29回沖縄県なぎなた大会」で、町内の小学生が好成績をあげました。演技競技の小学1・2年の部で新川珠羽(みう)さん(西原東小2年)が、小学3・4年生の部で石原かのんさんと安次嶺心さん(ともに西原東小4年)ペアが見事優勝。試合競技の小学5・6年生の部で米城映里花さん(西原小6年)が3位に輝きました。



## 新春マラソンで1年の健康を願う

小波津自治会で1月1日、地域の結束と1年の健康を祈願し、新春マラソン大会が開催されました。今年で35回目を迎える同大会には、大人と子ども合わせて約90名の住民が参加。9時のスタートを合図に、地域内に設定されたコースを駆け抜けました。



## 町功労者表彰式典及び祝賀会、盛會に終わる

本町の各種事業の振興・発展に顕著な功績を残した方を表彰する「平成22年度西原町功労者表彰式典」が1月28日、町中央公民館において開催されました。式典には約150名余りの町民、関係者が出席し、表彰者を祝福しました。式典後は引き続き祝賀会が行われ、町功労者と併せて叙勲受章者の方々を招き、盛大な祝賀会となりました。なお、今回初めて、町外在住で町出身者の叙勲受章者も対象としています。今年度の町功労者、叙勲受章者は次のとおりです。(敬称略)



### 町功労者表彰者名

#### 《有功者表彰》

- 城間 信三** 西原町字小那覇166番地  
●平成6年9月28日から平成10年9月27日、平成14年9月28日から平成22年9月27日まで3期12年間、町議会議員として尽力した。(前町議会議員)
- 屋宜 宣太郎** 西原町字与那城83番地  
●平成6年9月28日から平成10年9月27日、平成14年9月28日から平成22年9月27日まで3期12年間、町議会議員として尽力した。

#### 《功労者表彰》

- 仲宗根 精市** 西原町字幸地223番地  
●平成9年4月より平成21年3月までの12年間幸地自治会長として自治会に携わり地域社会の振興、発展に尽力した。中央公民館の移動講座、サークル活動の奨励等自治会の事業を積極的に推進した。
- 呉屋 定子** 西原町字呉屋22番地  
●多年(昭和55年12月1日より平成22年11月30日までの30年間)にわたり、民生委員・児童委員活動を通して、地域福祉の向上に尽力し、貢献した。

- 中里 和江** 西原町字津花波53番地の5  
●多年(平成7年12月1日より平成22年11月30日までの15年間)にわたり、民生委員・児童委員活動を通して、地域福祉の向上に尽力し、貢献した。

#### 《善行者(団体)表彰》

- 西原町の人材育成の為に役立てて欲しいと、町に対し、多額の寄付を行った。
- 金秀グループ**(会長 呉屋守将) 那覇市旭町112番地の1  
**新中糖産業株式会社**(代表取締役社長 福里重盛)  
西原町字嘉手苜117番地の2
- リウコン株式会社**(代表取締役社長 大城正治)  
西原町字小那覇1187番地
- 株式会社ネオプランニング**(代表取締役社長 下地直樹)  
那覇市おもろまち3丁目7番10号(2階)

#### 《第14回危険業務従事者叙勲》

- 前内原 英福**(瑞宝単光章) 西原町字我謝8番地の21  
●多年にわたり危険業務に従事・精励した。元沖縄県警部。辺土名地区警察署をはじめ、名護署、宮古署、八重山署を経て県警本部捜査二課に配属され、1994年に県警本部地域課で指導係長として定年を迎えるまで38年6ヶ月間にわたって職務に全うした。定年後は交番指導員として地域に貢献した。

#### 《叙位叙勲》

- 故 平良 勉**(正四位瑞宝中綬章) 西原町字翁長468番地 D-1  
●琉球大学名誉教授、元琉球大学教育学部長。平成22年5月21日逝去。米国ジョージウィリアムズ大学院で修士号を取得し、アメリカの運動生理学の研究成果を先駆的に取り入れ、特に沖縄の教育現場への理論の実践化を図る等、沖縄教育界への大きな啓蒙的役割を果たした。

#### 《春の叙勲(郵政事業功労)》

- 宮城 良光**(瑞宝双光章) 那覇市宇栄原714番地  
●昭和34年に工務交通局(琉球政府)に入庁以来、平成13年に退職するまでの42年間郵政事業に従事した。本土復帰以降は、那覇、八重山、南風原、西原など様々な局で活躍、その他、郵便局長会役員・部会長・理事・副会長など、多岐にわたる職を歴任した。字小橋川出身。

#### 《秋の叙勲(地方自治功労)》

- 比嘉 清一**(瑞宝小綬章) 豊見城市字真玉橋482番地の2  
●昭和34年に琉球政府に入庁以来、平成9年3月に沖縄県庁を定年退職するまでの間、本土復帰に向けての準備や市町村の給与制度、第3次沖縄県振興計画等、様々な役職で手腕をふるってきた。中でも企業局時代の「昭和56年326日大渇水」における人口降雨作戦は忘れがたい出来事と語る。県庁退職後は、第一製糖株式会社(代表取締役社長)や沖縄県信用保証協会(会長)を経て、現在、西原町郷友会役員として活躍する。字幸地出身。